

わっ歯歯 NEWS



医療法人社団 健巧会
なつこクリニック 院長

深澤 奈都子

『なつこクリニックオープンのご挨拶』

江守クリニック皮膚科は、2021年5月14日

「なつこクリニック」として、近岡町（大平胃腸科外科跡）に移転開院いたしました。

亡き祖父が七尾市で歯科医院を開院した後、「江守歯科医院」、「江守クリニック（内科）」、「なつこクリニック（皮膚科）」と医療法人社団は70年以上にわたり地域医療に携わらせていただいております。

皮膚科開院当初は、一般皮膚科として傷や皮膚疾患など肌の悩みに寄り添ってまいりました。疾患が解決した後、



傷跡をさらに綺麗にしたいという患者様をお手伝いしていくうちに美容皮膚科の必要性を痛感し、力をいれるようになってまいりました。

来院される方の多くは、悩みや心配事によって、ご自身の輝きに気がついていなかったり、自信が持てなかったりします。そして、「もう歳だから」とお話しされる方が多いことに驚きます。

日野原重明先生も百歳をこえてシミ取りをしたそうで、「人間には外見を整えることで、人に会いたくなかったり、積極的な気持ち湧いてきたりする」という心が

携わっているのだと実感します。」と仰っていました。

「見た目」の美しさが磨かれると自信が生まれ、日々の原動力になります。いくつになっても、なりたい自分になり、自分らしい自分になることに恥ずかしがらないで欲しいです。

当院に来ていただいた患者様には、他の誰でもない

『自分らしさ』『オリジナル』を壊すことがないよう、自分らしい自分で輝き続けてもらいたいです。

「足を運ぶ度に、少しずつ悩みが解決され、明るく前向きになった」「気が付けば、自分らしく自信を持って過ごせるようになった」こういった声が集まる場所でありたいと思います。

笑顔が増え、生き生きと毎日を過ごす人が増えれば、この美しい地球は、もっともっと幸せな星になると真剣に考えて

おります。私たちクリニックの扉があなたが生き生きと輝く未来への扉になることを願っています。

また、健巧会スタッフ一同、地球の皆様のご心身の健康を支えているという責任と、感謝を忘れず、力を合わせて歩んでまいります。よろしくお願い申し上げます。



皮膚科症例

シミ治療 (YAG532nm) による効果

シミ治療 (YAG532nm) とは？

レーザー波長 532nm は、メラニン色素への吸収率が高く、皮膚の浅いところにとどまるので、皮膚の浅いターゲットのメラニン色素を破壊します。正常な皮膚へのダメージは最小限に抑えられます。

(シミを治療する場合どのような手を用いても色素を完全に除去し、全く正常な皮膚にすることができません。)

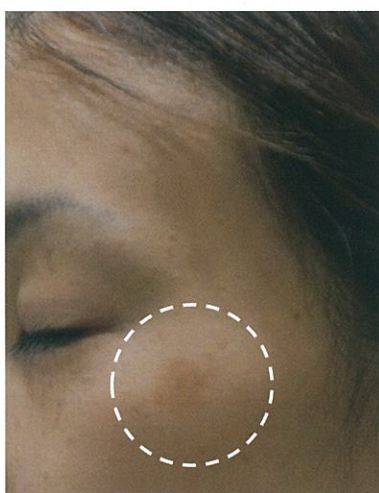
深澤なつこ先生のコメント

長期間にわたって悩んでいた症状が改善され、スタッフ一同喜びを共有させていただきました。日々のケアが大切なので、引き続き頑張りましょう！

患者様からのコメント (35歳・女性)

ずっと悩んでいたシミがあっという間にキレイになってとても嬉しいです。メイクで隠しきれないほどの濃さだったので、メイクが楽しくなりました。

【シミ治療 (YAG532nm) を1回照射】



R2. 12. 4 施術前



R2. 12. 18 2週間後

【健巧会に新しいスタッフが入りました】



(江守歯科衛生士)

益田しおり

ますだしおり

至らない所もありますが、知識と技術を向上していけるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



(江守歯科衛生士)

小島千夏

こじまちなつ

「朗らか」に頑張ります。



(なつこクリニック受付)

吉田美春

よしだ みはる

「安心」「満足」を患者さまに提供できるよう、業務に努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

歯科症例

主訴：歯並びを治したい

治療：矯正治療

初診時 H30. 5. 26 (14 歳女性)



患者様のコメント

歯が綺麗に並び嬉しかったです。
本当にありがとうございました。

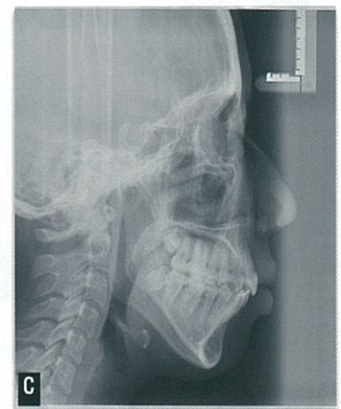


治療終了時 R2. 11. 9



江守志野先生のコメント

前歯部の突出と顎のズレが大きく、
難症例であった為、どの程度改善出来るか
不安がありました。が、患者様が若年者で
あったことが短期間で良い治療結果に
つながったと嬉しく思います。



江守クリニックからのお知らせ～熱中症の話～

夏場には例年5万人もの人が救急搬送されています。猛暑だった2010年と18年では1500人以上の人が熱中症で亡くなり、その80%は65歳以上の高齢者。今年は例年を上回る高温多湿の夏になるとの予想です。

高齢者の方に重傷者が多いのは高齢になると体内の水分量が少なく、さらに喉の渇きを感じにくくなります。もったいないと、エアコンをつけられない高齢者もいるので、熱中症になることが多いようです。

熱中症は本人が異常に気付かないまま発症し、進行・重症化して死に至ります。高齢者だけではありません。10年程に富山県で開かれた熱い時期のマラソン大会で金沢市の若い医師が参加して熱中症になって生死の境をさまよった末、人工透析で回復したそうです。

ご本人の話では走っているときは特別な異常を感じることはなく「ちょっとふらついたかな？」と思ったくらいで、急に意識がモウロウとし、目が覚めたら病院のベッドの上だったそうです。

熱中症は本人が異常に気付かないまま進行するので、気を付けたいものです。



江守クリニック
院長

江守 巧

高齢者の熱中症は本人が気付かないまま発症し、重症化して死に至ります。



かむかむ簡単クッキング



(材料)

- きゅうり 3本 (約300g)
- 塩 小さじ1/4
- ◎醤油 大さじ1
- ◎ごま油 大さじ1
- ◎すりごま 大さじ1
- ◎砂糖 小さじ2
- ◎顆粒状鶏ガラスープの素 小さじ1
- ◎酢 小さじ1

- 1 きゅうりはヘタを切り落とし2センチ幅に切り、ポリ袋に入れる。
- 2 ポリ袋に塩を入れ袋の上から軽くもみ10分ほど置いておく。
- 3 約10分後、出てきた水分を捨てる。
- 4 ◎の調味料を小さいボウルで混ぜ合わせ、水切り後のきゅうりに混ぜ合わせて出来上がり。

やみつききゅうりのごまだれ (中華風漬物)